

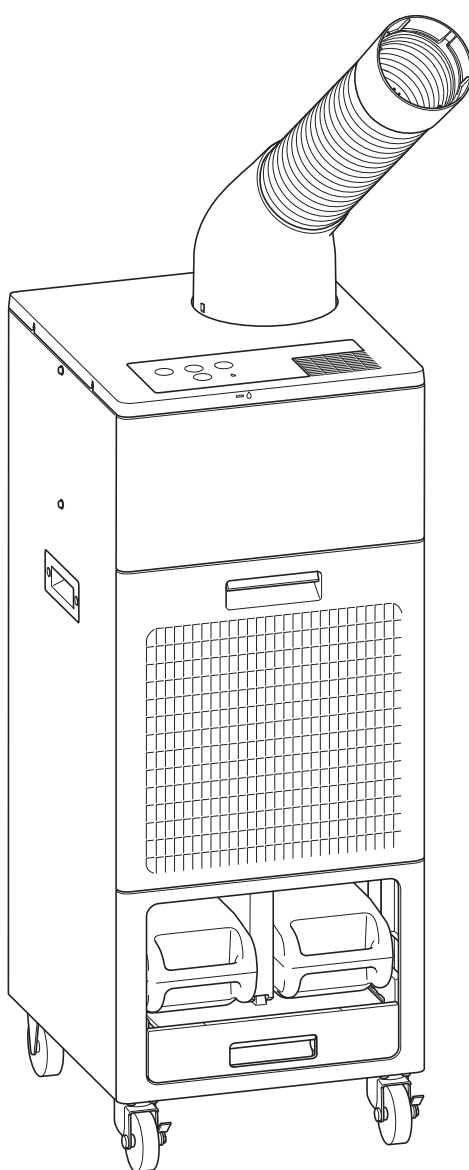
排気熱風レス* & フロンレス スポットクーラー



PD-7100F 首固定タイプ

PD-7100S 首振りタイプ

ユーザーズガイド



このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本製品をお使いいただく前に、本書をお読みください。
- 本書はなくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。
- 本書では、「PD-7100S 首振りタイプ」を代表例として記載しています。

※ 排気熱風レスとは、排出される排気の乾球温度が外気温より低くなることを指します。

目次

本書のみかた.....	2
安全にお使いいただくために.....	3
電源や機器の配線について	3
このような使い方はしないで	3
もしもこんなときは.....	4
その他のご注意.....	4
各部の名称	5
1. 使う前の準備.....	8
本製品の持ち上げ方	8
本製品の固定と固定解除	8
冷風ダクトの取り付け方、取り外し方	9
電源プラグを接続する.....	9
給水方法	10
排水方法	11
冷風ダクトの交換方法	12
2. まずは使ってみましょう	13
運転を開始する	13
風量切換をする.....	13
モード切換をする	13
操作音を消音する.....	14
首振り切換をする (PD-7100S 首振りタイプ)	14
給水のタイミング	14
運転を停止する	15
3. お手入れのしかた.....	16
エアフィルターのお手入れ	16
冷却ユニットのお手入れ	18
サブタンクのお手入れ	21
給水フィルターのお手入れ	22
4. 故障かな?と思ったら	23
5. アクセサリーについて	24
6. 仕様.....	25
7. 保管するとき (長期間使用しないとき)	25
8. 保証とアフターサービス	25
保証について	25
修理を依頼されるときは	25

本書のみかた

本書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
重要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
お願い	ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示します。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。

	特定の条件において、発火の可能性があることを意味しています。
	特定の条件において、感電の可能性があることを意味しています。
	「してはいけないこと」（禁止事項）を意味しています。
	外部の火気によって、製品が発火する可能性があることを意味しています。
	製品の特定場所に触れることによって、傷害が起こる可能性があることを意味しています。
	製品を分解することによって、感電などの傷害が起こる可能性があることを意味しています。
	製品を濡れた手で扱うと、感電する可能性があることを意味しています。
	製品を水に濡らすと、感電する可能性があることを意味しています。
	「しなければならないこと」を意味しています。
	電源プラグをコンセントから抜くことを意味しています。
	アースをつなぐことを意味しています。

安全にお使いいただくために

電源や機器の配線について

⚠ 警告

	アースは必ず接続してご使用ください。また、漏電ブレーカーを設置したコンセントを使用してください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
	電源は AC100 V でご使用ください。 DC 電源やインバータ (DC - AC 変換装置) を接続して使用しないでください。火災、感電の原因になります。 本製品を接続するコンセントが AC 電源または DC 電源のどちらかわからないときは、電気工事資格をお持ちの方にご相談ください。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。 確実に差し込まないと隙間に水・埃等の異物が入り込み、火災や感電の原因になる可能性があります。
	電源コードや電源プラグは定期的にコンセントから抜いて点検し、発熱・錆び・曲がり・擦れ・亀裂等の損傷がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因となります。
	電源コードは無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。電源コードの破損が火災の原因となります。
	長時間使わないときは電源プラグを抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。 また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
	本製品を清掃するときは、必ずコンセントから電源コードを抜いてください。火災や感電の原因となります。 電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグの本体を持って抜いてください。

⚠ 注意

	本製品の電源を完全に切るためにはコンセントから電源プラグを抜かなければいけません。緊急時に容易にプラグを抜くことができるように本製品はコンセントの近くに設置してください。
	いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。

このような使い方はしないで

⚠ 警告

	雨や水のかかる場所では使用しないでください。漏電による感電、火災の原因となります。
	火気の近くや火花の飛び散る恐れのある場所で使用しないでください。本体の変形や火災の原因となります。
	船舶・車両等での空調用には使用しないでください。水漏れ・漏電による感電、火災の原因となります。
	カーボンや金属などの導電体の粉じんが発生する場所では使用しないでください。ショートにより火災や感電の原因になります。
	動作保証温度の範囲外で使用しないでください。火災・故障の原因になります。 動作保証している環境の範囲は次のとおりです。 温度：5 ～ 45 ℃

もしもこんなときは

警告

	異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、異臭がしたときは、すぐに電源コードをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはブラザーコールセンターにご相談ください。そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
	本製品を転倒させたり、破損したときは、すぐに電源コードをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはブラザーコールセンターにご相談ください。そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。 下記に例示するような通電性のある異物が製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電を起こす恐れがあります。本体製品内部に異物が入った場合は、すぐに電源コードをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはブラザーコールセンターにご相談ください。 ・クリップなどの金属 ・ネックレスや指輪などの貴金属 ・水、薬品、ペットの尿などの液体

その他のご注意

警告

	分解や改造はしないでください。火災、感電の原因となります。
	火気を近づけないでください。火災や感電の原因となります。
	吸気口やスポット口、排気口を紙や布などで塞がないでください。故障や火災の原因になります。
	運転中にフィルターカバーを取り外さないでください。回転部に触れてけがをする恐れがあります。
	製品の持ち上げは、2名以上で行ってください。

注意

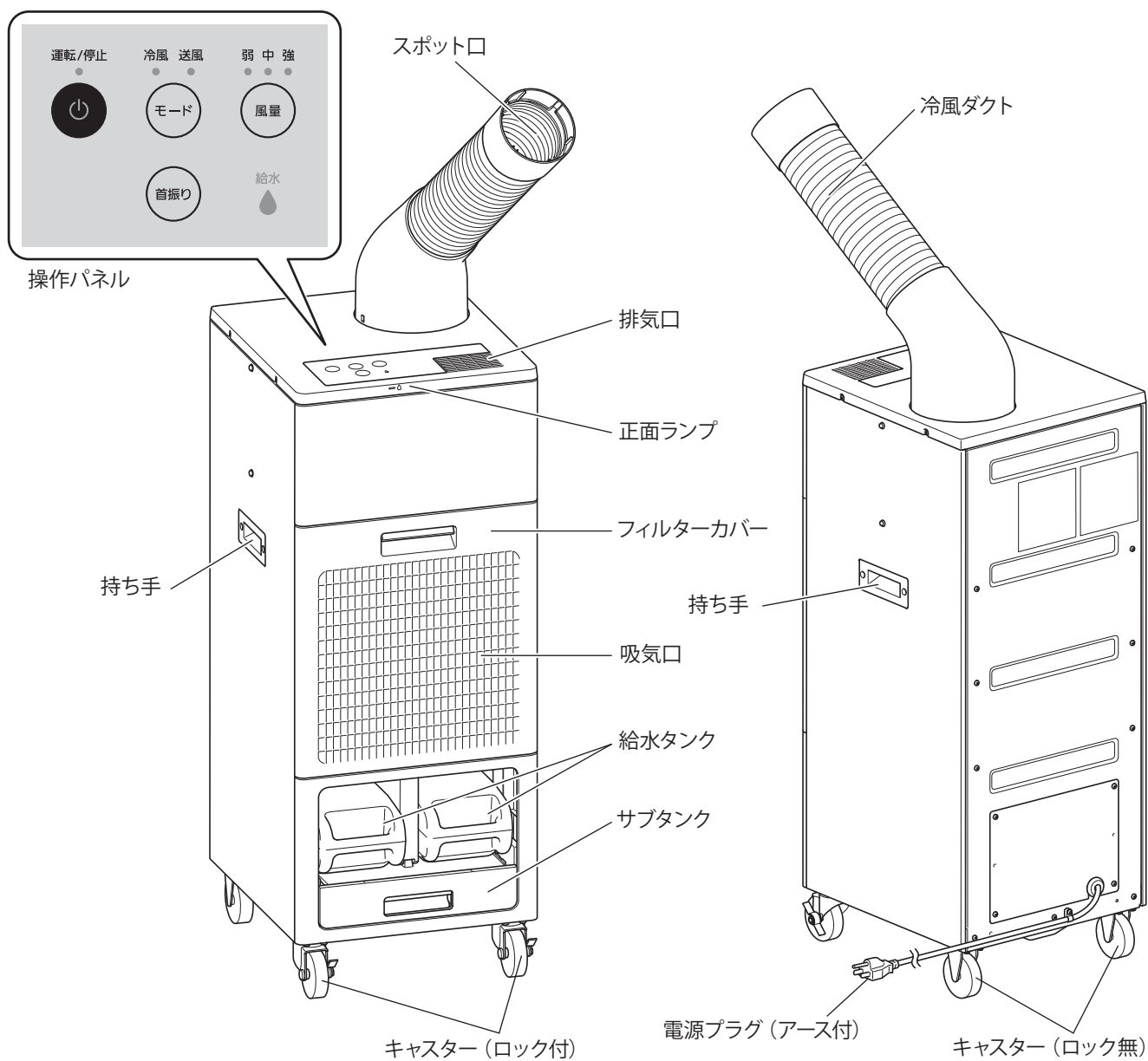
	排気口やスポット口に指や棒などを絶対に入れないでください。回転部に触れてけがをする恐れがあります。
	キャスター（ロック付）のロックが解除された状態で使用しないでください。不用意に動いてけがをする恐れがあります。

重要

	換気設備の十分な空間でご使用ください。狭い密閉された空間で使用すると湿度が上がリ、冷却能力が発揮できないだけでなく、周辺の金属器具に湿気による錆びなどを発生させる可能性があります。 本体の吸気口周辺は十分に空間（50 cm 以上）をとってください。吸気口を壁面やその他の障害物に近づけすぎると、風量不足となり、性能低下の可能性があります。 本体は水平に保ってください。傾けて設置すると、水が漏れる可能性があります。 水道水をご利用ください。井戸水、工業用水を使用すると、臭気発生の原因となります。 毎日、運転終了時には必ず残水を排水してください。給水タンクやサブタンクの水をそのまま放置すると、腐敗や微生物増殖などにより、臭気発生の原因となります。 運搬・移動の際は、給水タンクや、冷風ダクトなどの部品をしっかりと固定してから移動させてください。 環境に舞う粉塵やミストの種類によっては、製品が破損し、故障や能力低下につながる恐れがあります。
	運転中の移動はしないでください。水漏れや故障の原因となります。 温度環境を急激に変えないでください。内部に結露が発生して故障の原因となります。 スポット口および排気口からの冷却は湿気を帯びているため、前方には錆びやすいものを置かないでください。 油が浮遊している環境で使用しないでください。循環水に油が混じり使用できなくなる恐れがあります。きれいな外気が入る位置に設置してください。 本製品の上に物を置かないでください。 本製品に貼られている製造番号が記載されたラベルは、はがさないでください。 首振り部分を無理な力で回さないでください。

各部の名称

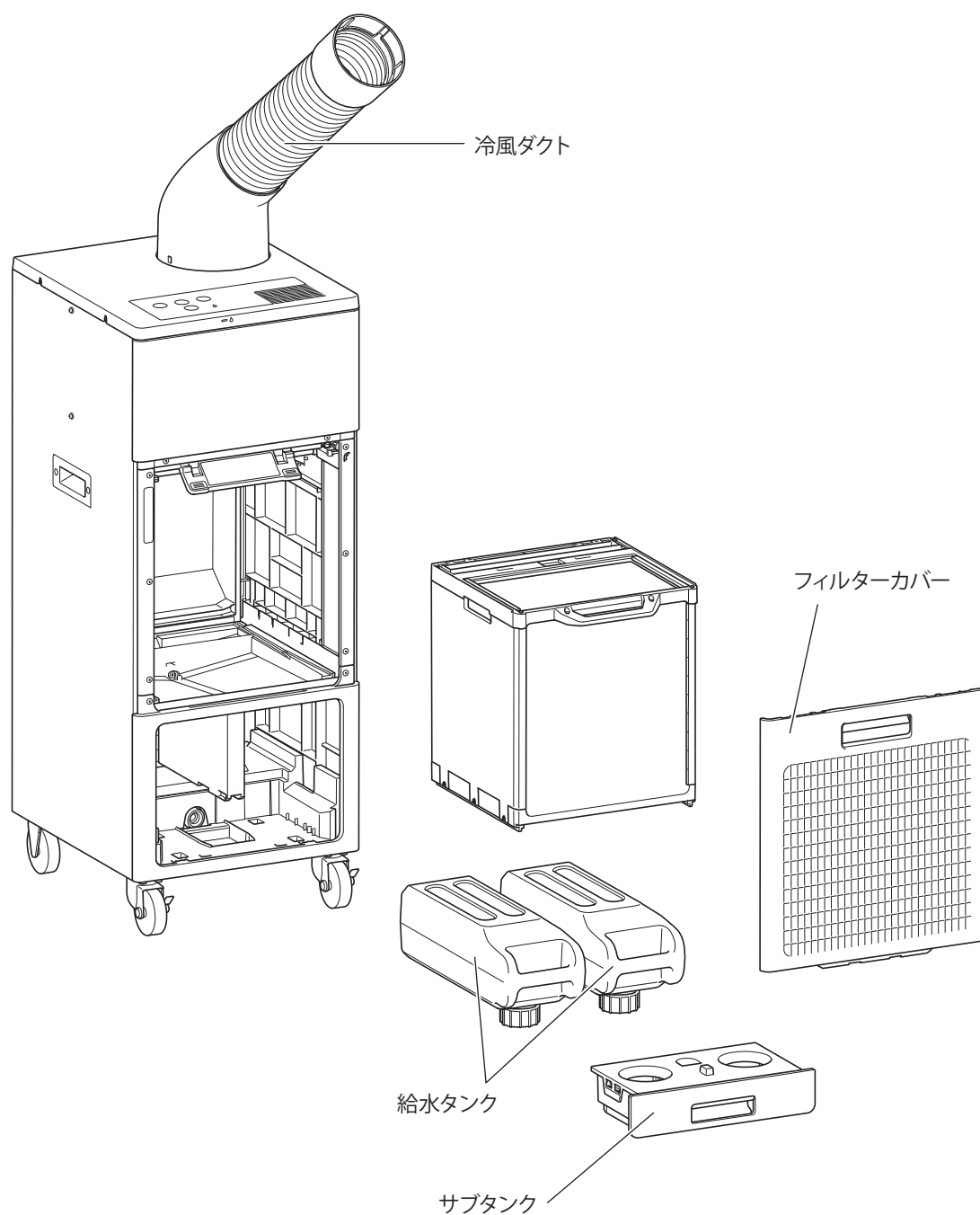
【製品本体】



各部の名称（つづき）

【オプション品】

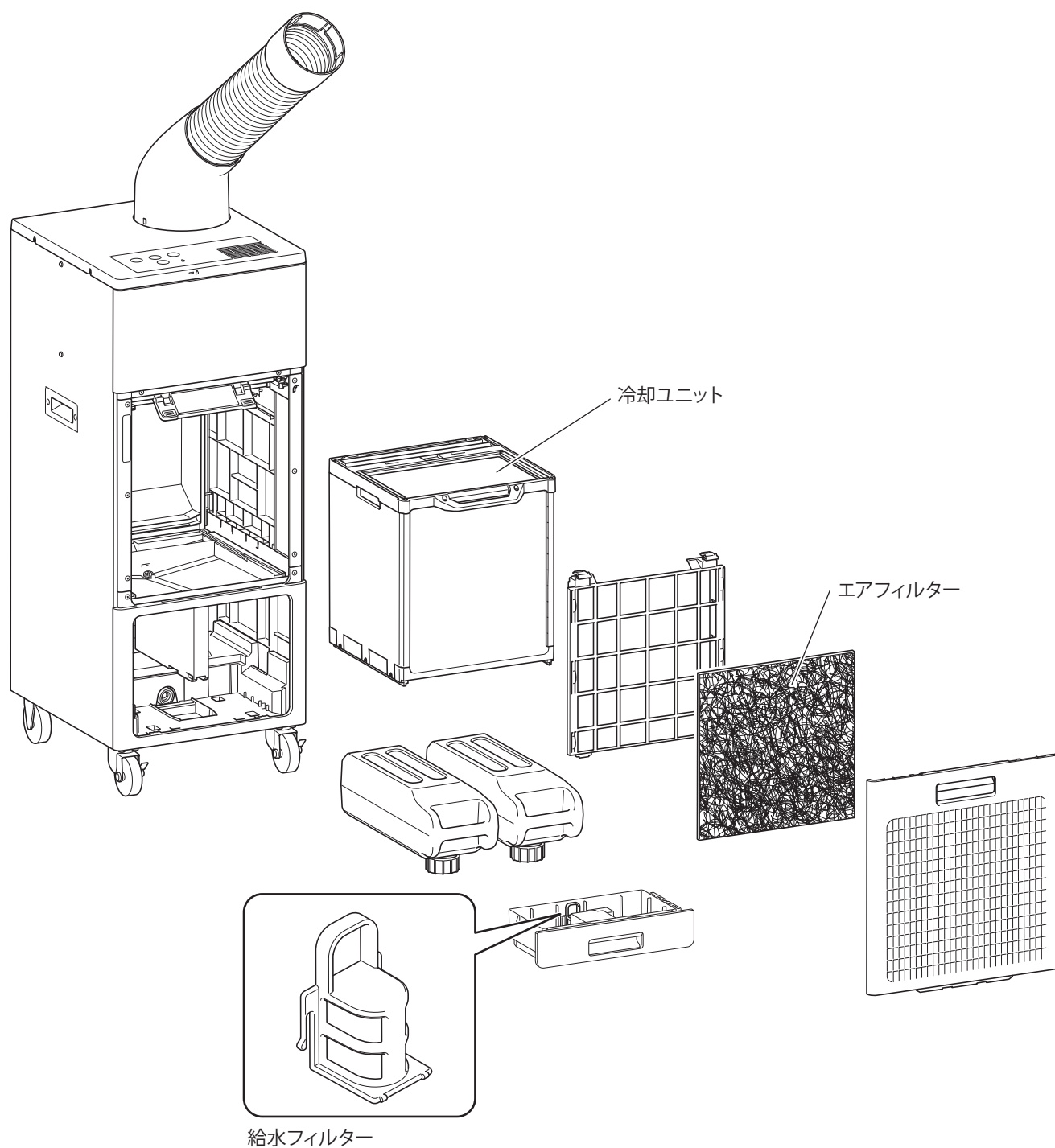
部品の劣化や破損、紛失時にお買い求めください。



各部の名称（つづき）

【消耗品】

3年を目安に消耗品をお買い求めください。



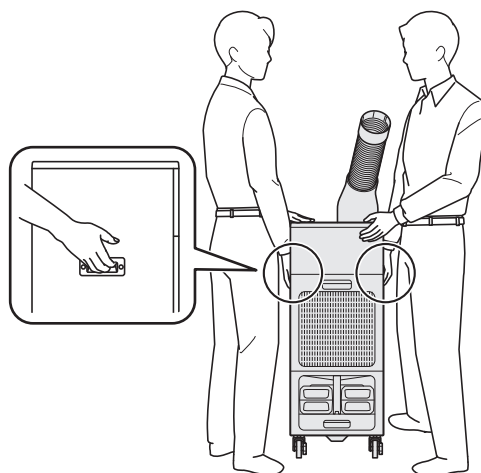
1. 使う前の準備

本製品の持ち上げ方

⚠ 警告

安全のため、本製品を持ち上げるときは、必ず2人以上でお持ちください。

本製品を持ち上げるときは、図のように片手で本製品の持ち手を持ち、他方の手は製品に添えてください。



本製品の固定と固定解除

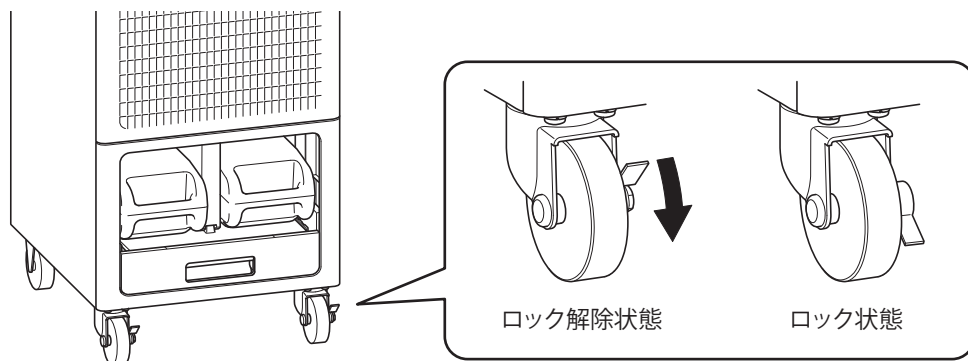
⚠ 注意

本製品を移動しないときは、必ず本製品を固定してください。

キャスター（ロック付）が2箇所固定されていないと、お手入れ時などで本製品が動き出し、けがをする恐れがあります。

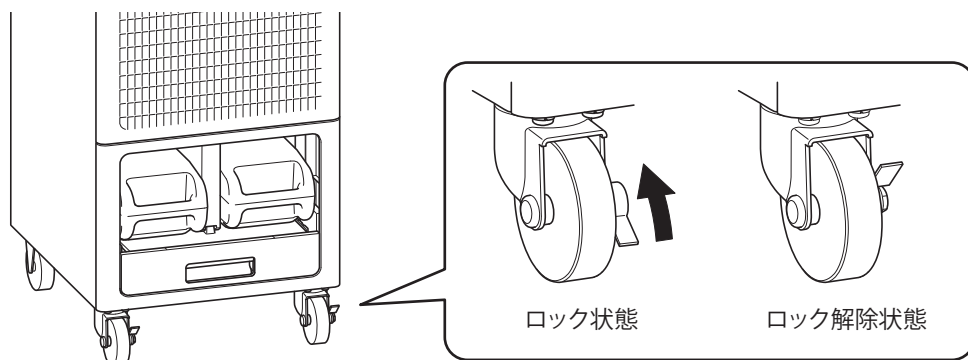
【固定のしかた】

1. 本製品のキャスター（ロック付）を2箇所ロック（ON）する。



【固定解除のしかた】

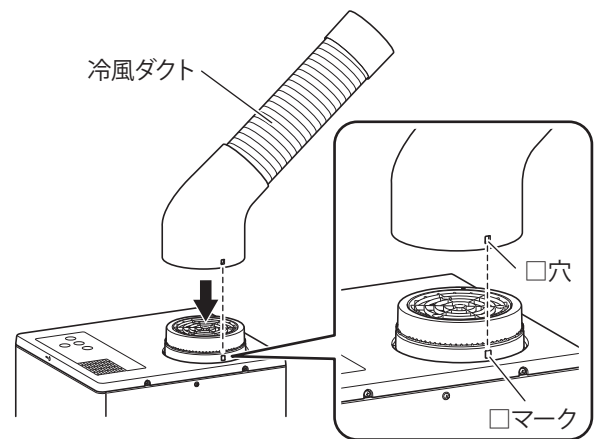
1. 本製品のキャスター（ロック付）を2箇所ロック解除（OFF）する。



冷風ダクトの取り付け方、取り外し方

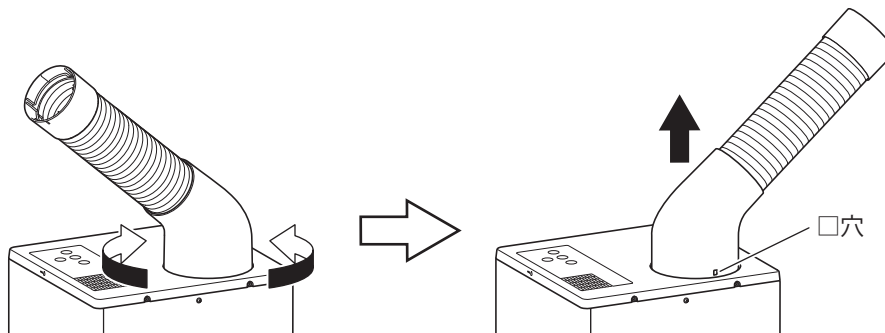
【冷風ダクトを取り付ける】

1. 冷風ダクトの□穴の位置と本体の□マークの位置を合わせて取り付ける。
※手ごたえがあるまで、冷風ダクトを下げてください。
2. お好みの方向に冷風ダクトを向ける。
※冷風ダクトの向きを手動で変えているときに□マークの位置が合わさると、冷風ダクトが外れることがあります。



【冷風ダクトを取り外す】

1. 冷風ダクトを回して、冷風ダクトの□穴の位置と本体の□マークの位置を合わせる。
2. 冷風ダクトを上方向に取り外す。
※冷風ダクトはどちらに回しても取り外すことができます。

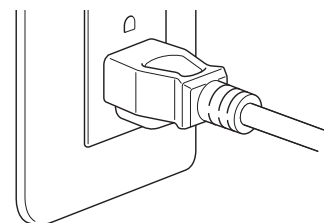


⚠ 注意

キャスター（ロック付）が2箇所固定されていないと、本製品のお手入れ時などで本製品が動き出し、けがをする恐れがあります。

電源プラグを接続する

電源プラグをコンセント（AC100 V）に確実に差し込む。

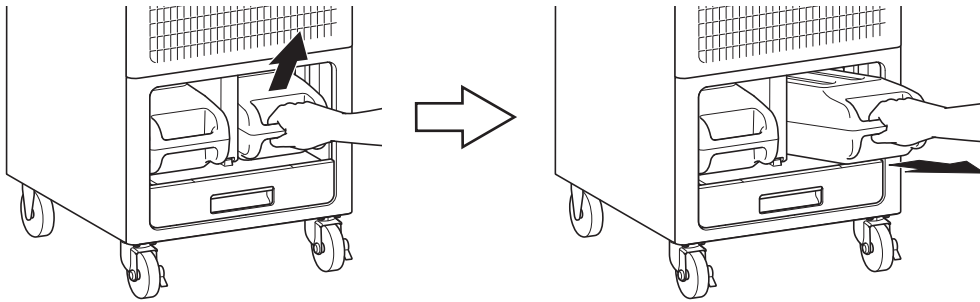


⚠ 警告

- 漏電ブレーカーを設置したコンセントを使用してください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
- 電源は AC100 V 以外で使用しないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 電源コードや電源プラグは定期的にコンセントから抜いて点検し、発熱・錆び・曲がり・擦れ・亀裂等の損傷がないかどうか確認してください。
- 電源コードは無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。
- 長時間使わないときは電源プラグを抜いてください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- お手入れする際は、必ず電源プラグがコンセントから確実に抜かれていることを確認してから行ってください。

給水方法

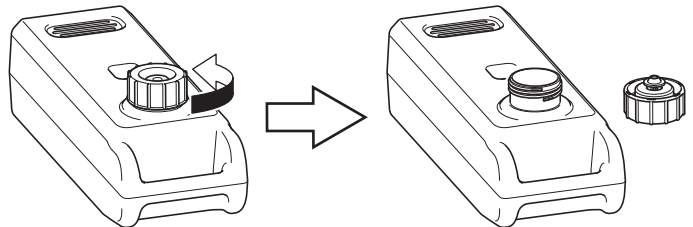
1. 給水タンクの取っ手を持ち上げ、手前に引き出して取り外す。



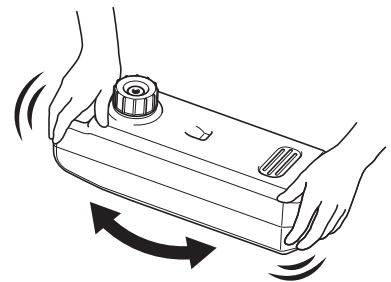
⚠ 注意

本製品から給水タンクを取り外す場合は、本製品のキャスター（ロック付）を2箇所ロック（ON）状態にして取り外してください。キャスター（ロック付）がロック解除（OFF）状態で給水タンクを取り外そうとすると、本製品が動き出してけがをする恐れがあります。

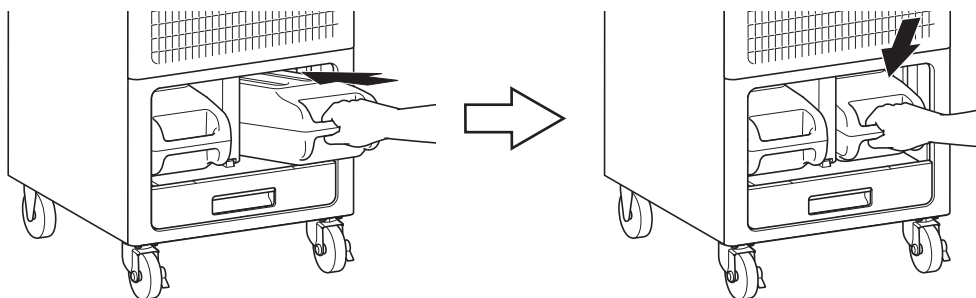
2. 給水タンクの給排水キャップを外す。



3. 給水タンクに少量の水を入れて給排水キャップを取り付けた後、振り洗いをする。



4. 給水タンクの給排水口を下に向けて、振り洗いした際に使用した水を捨てる。
5. 水道水を給水する。
6. 給水タンクの給排水キャップを確実に閉める。
7. 給水タンクを本体に取り付ける。



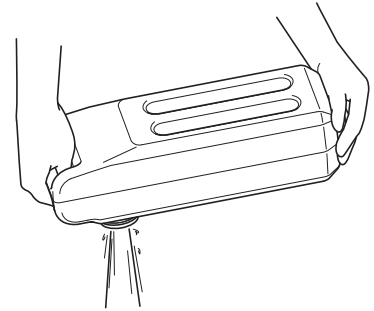
お願い

- 水を入れた給水タンクを持ち運ぶ際は両手で持ってください。
- 給水タンクまたはサブタンクから水漏れがないか確認してください。
※漏れているときは、再度給排水キャップを閉め直し、ひび割れなどの破損が無いかご確認の上、お買い求めの販売店もしくはブラザーコールセンターにご相談ください。オプション品の購入は24ページを参照ください。

排水方法

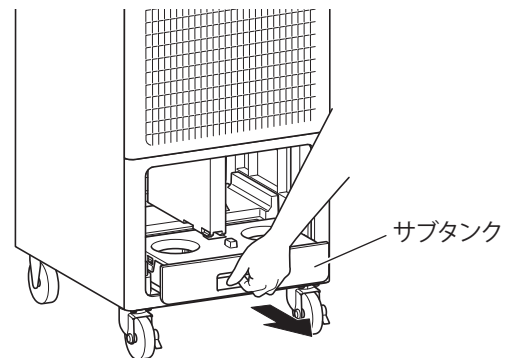
【給水タンクの水を排水するとき】

1. 給水タンクの取っ手を持ち上げ、手前に引き出して取り外す。(詳細は 10 ページ参照)
2. 給水タンクの給排水キャップを外す。(詳細は 10 ページ参照)
3. 給水タンクの給排水口を下に向けて排水する。
4. 給排水キャップを確実に閉める。
5. 給水タンクを本体に取り付ける。(詳細は 10 ページ参照)



【サブタンクの水を排水するとき】

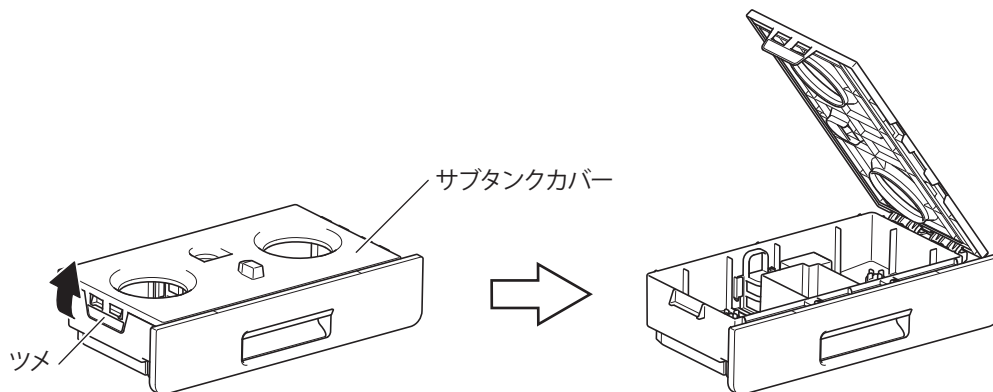
1. 給水タンク 2 個を本体から取り外す。
2. サブタンクを本体から取り外す。



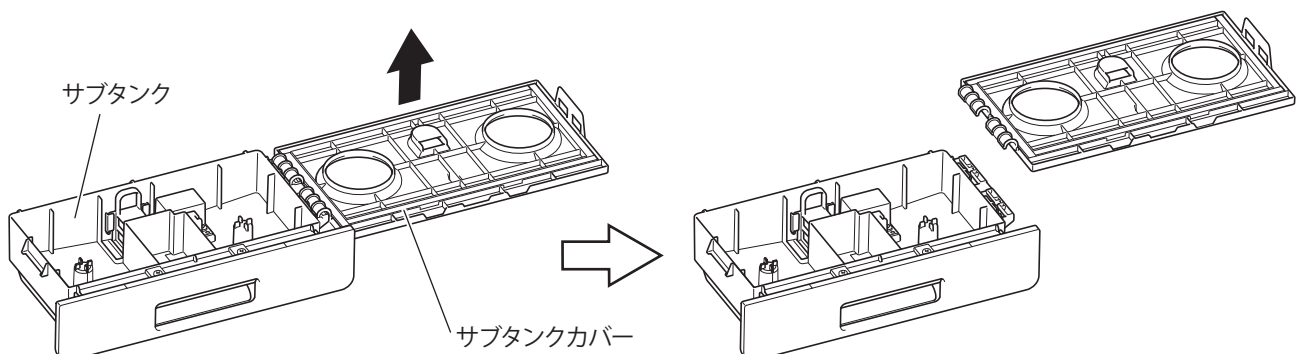
お願い

サブタンクを本体から取り出す際は、必ず給水タンクを取り外してからサブタンクを取り外してください。
給水タンクが取り付けられた状態でサブタンクを取り外すことはできません。

3. 左側のツメを持ち上げ、サブタンクカバーを開ける。

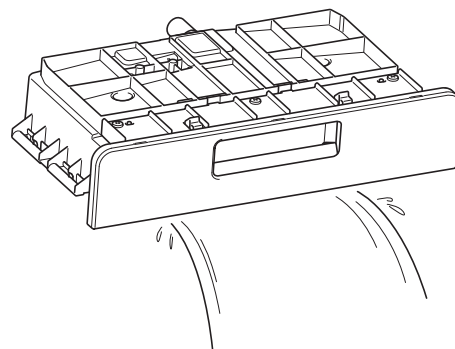


4. サブタンクカバーを完全に開き、上方向に取り外す。

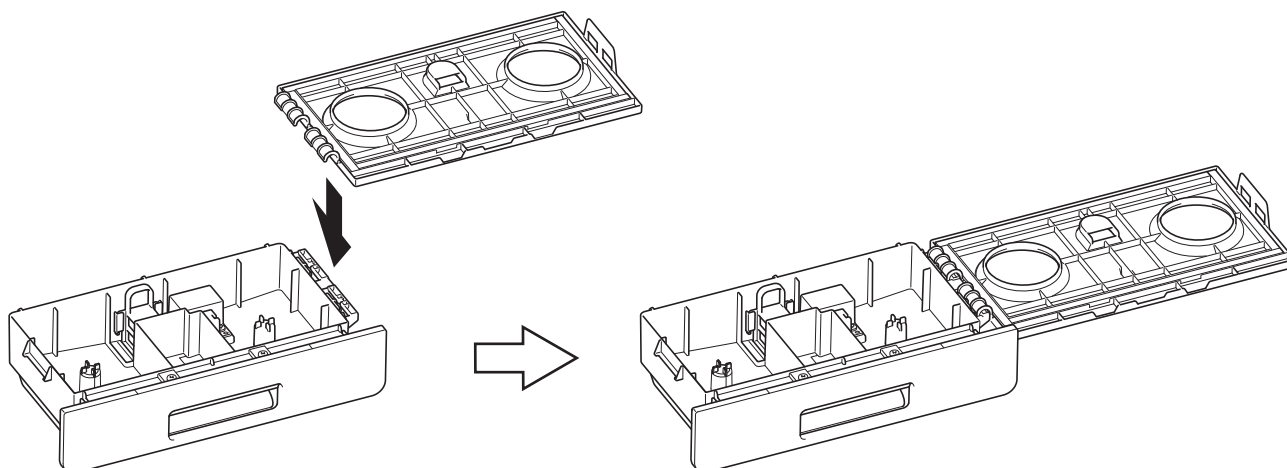


排水方法 (つづき)

5. サブタンクの水を排水する。



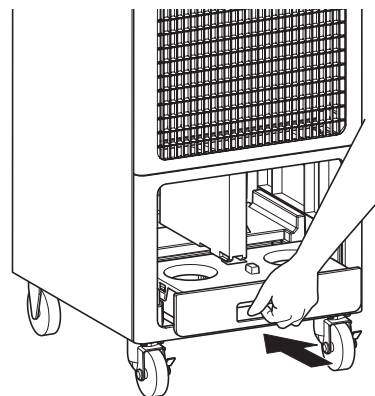
6. サブタンクカバーをサブタンクに取り付ける。



7. サブタンクカバーを閉じて、ツメを取り付ける。

8. サブタンクを本体に取り付ける。

※必ず奥まで挿し込んでください。



9. 給水タンクを本体に取り付ける。(詳細は 10 ページ参照)

重要

- 毎日使用しない場合は、運転終了時に自動停止機能による乾燥運転を行い、本体内部を乾燥させてください。乾燥運転後は必ず給水タンクとサブタンクの残水を排水してください。給水タンクやサブタンクの水をそのまま放置すると、腐敗や微生物増殖などにより、異臭発生の原因となります。
 - 本製品を運搬・移動する際は、給水タンクやサブタンクの水を排水してから移動させてください。
-

冷風ダクトの交換方法

新品の冷風ダクトに交換する際は、「冷風ダクトの取り付け方、取り外し方」(詳細は 9 ページ参照)を確認の上、作業を行ってください。

2. まずは使ってみましょう

運転を開始する

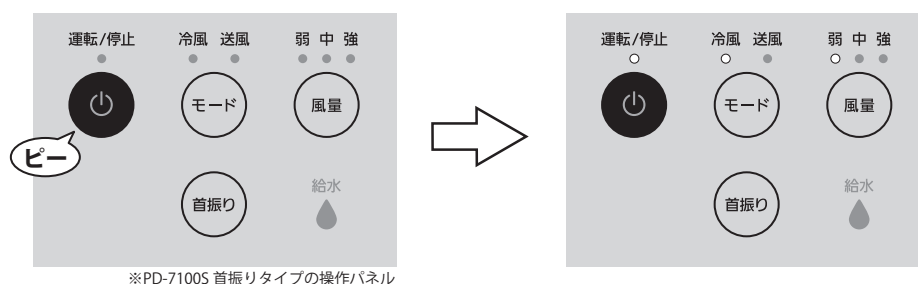
⚠ 注意

本体が水平な場所に設置され、キャスター（ロック付）が2箇所ロック（ON）されているか確認してください。（詳細は8ページ参照）

お願い

換気設備が十分な空間か確認してください。狭く密閉された空間で使用すると湿度が上がリ、冷却能力が発揮できなくなります。（換気扇などの強制換気装置と併用すると冷却能力向上に効果的です）

「運転／停止」ボタン（）を押すと「ピー」という音が鳴リ、「運転／停止」ランプ、「冷風」ランプおよび「弱」ランプが緑色に点灯して、運転を開始します。

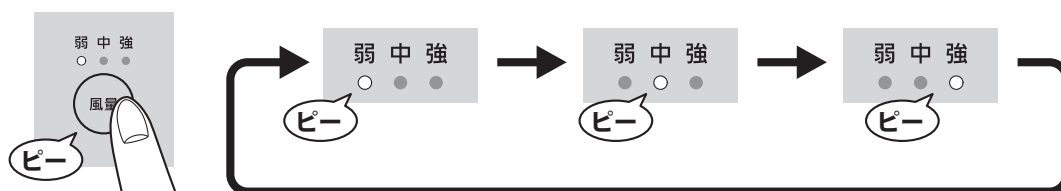


補足

使用環境によっては運転を開始してから冷風が出始めるまでに時間を要する場合があります。

風量切換をする

「風量」ボタンを押すごとに「ピー」という音が鳴リ、風量が切り換わります。

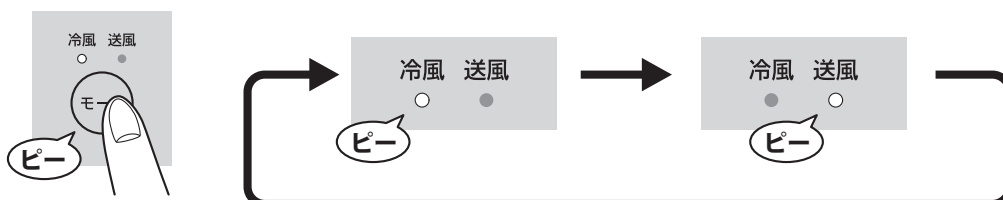


補足

運転開始時は、前回使用時に設定した風量にて動作します。

モード切換をする

「モード」ボタンを押すごとに「ピー」という音が鳴リ、運転モードが切り換わります。運転開始時は「冷風」モードに設定されていますので、お好みのモードに設定してください。
「冷風」：ファンとポンプが作動し、冷風運転を行います。
「送風」：ファンのみが作動し、送風します。



操作音を消音する

「モード」ボタンを長押しすると、消音モードに切り換わります。

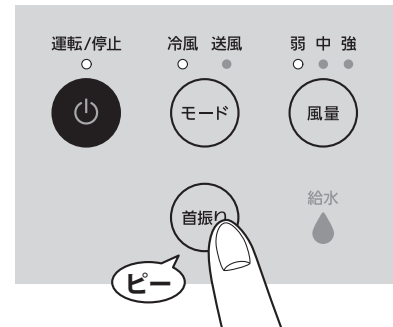
消音モード時に、「モード」ボタンを長押しすると、消音モードが解除されます。

※エラーの際は、消音モードに関わらずエラー音が鳴ります。(詳細は 23 ページ参照)

首振り切換をする (PD-7100S 首振りタイプ)

「首振り」ボタンを押すごとに首振りをする／しないが切り換わります。

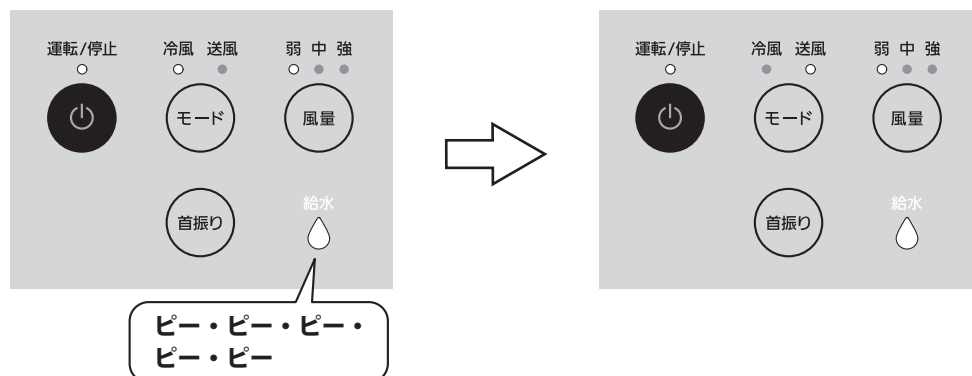
運転開始時は首振り動作が停止しています。「首振り」ボタンを押すと首振り動作が開始されます。



給水のタイミング

「冷風」モード運転中にタンク内の水がなくなると「給水」ランプが点灯し、10 秒間ブザー音でお知らせします。その後給水するまで「給水」ランプが点灯します。

製品内部のポンプは停止し、自動的に「送風」モードに切り換わります。



補足

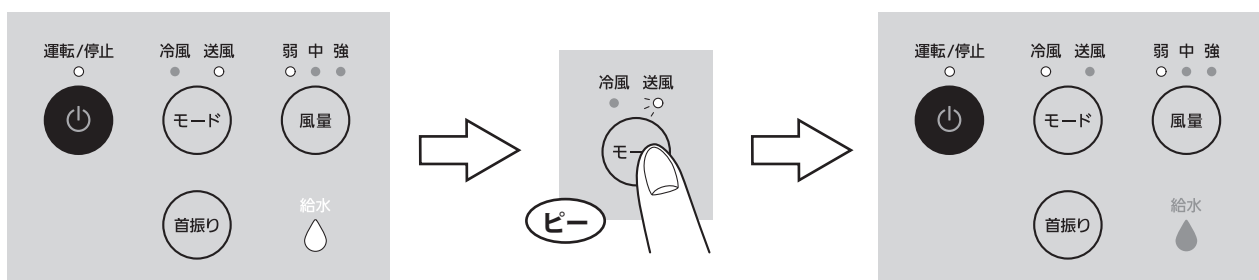
給水タンクに水が無い状態でも、運転中であれば「送風」モードで風が出ます。

【解除のしかた】

1. 運転中に給水タンクに給水する。(詳細は 10 ページ参照)

2. 「モード」ボタンを押して、「冷風モード」にする。

※「給水」ランプが消灯します。



運転を停止する

【自動停止機能】

運転中に「運転／停止」ボタン（●）を押す。

※ 自動停止機能が作動して、乾燥運転となり、「運転／停止」ランプと「送風」ランプが点滅し、選択中の風量に応じて風量のランプが点灯します。30 分後に運転が自動停止します。

※ 自動停止機能が働いている間はポンプが停止され、「送風」モードで運転し、製品内部を乾燥させます。



【強制停止機能】

運転中または自動停止機能が作動中に「運転／停止」ボタン（●）を長押しする。

※ 「運転／停止」ランプが消灯し、すべての動作が強制停止します。



重要

「冷風」モードで使用した後、強制停止で終了をすると、製品内部は乾燥されません。そのため、雑菌が繁殖し、臭いの原因になることがあります。

お願い

異常時を除き、運転中に電源コードをコンセントから抜くことは控えてください。

3. お手入れのしかた

お願い

- エアフィルター、冷却ユニット、サブタンク、給水フィルターの汚れ状況を見ながら、適宜お手入れを行ってください。
- 早めに清掃すれば、汚れは簡単に取り除け、冷却能力も維持されます。
- 長期間保管した後の使い始めと、使い終わりの保管前には必ずお手入れをしてください。

■ 清掃頻度の目安 ※使用環境や使用状況によって清掃頻度は異なります。

給水タンクおよびサブタンク内の残水の排水 (11 ページ)	毎日
エアフィルターの清掃 (16 ページ)	2 週間に 1 回
冷却ユニットの清掃 (18 ページ)	2 週間に 1 回
サブタンクの清掃 (21 ページ)	2 週間に 1 回
給水フィルターの清掃 (22 ページ)	2 週間に 1 回

エアフィルターのお手入れ

⚠ 警告

必ず電源プラグがコンセントから確実に抜かれていることを確認してください。

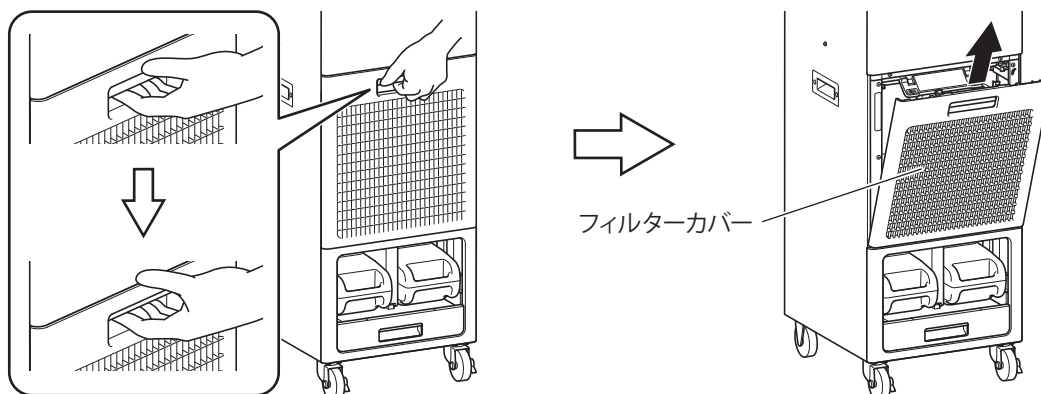
⚠ 注意

本体が水平な場所に設置され、キャスター（ロック付）が 2 箇所ロック（ON）されているか確認してください。

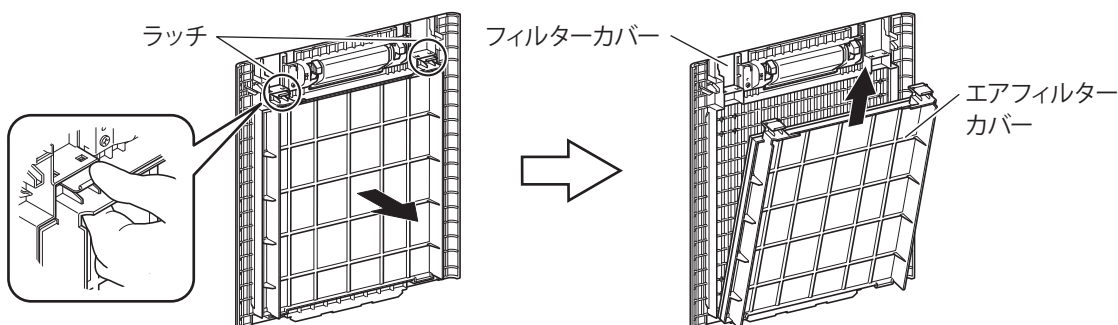
重要

エアフィルターの汚れがひどくなると、冷却能力や風量低下の原因になりますので、2 週間に 1 回程度エアフィルターのお手入れをしてください。

1. フィルターカバーのレバーを引いて、本体から取り外す。

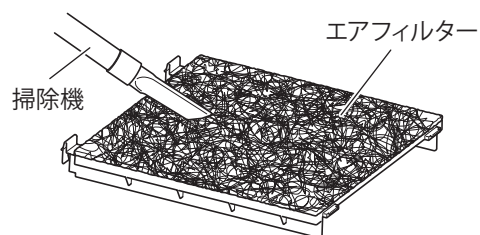


2. ラッチ 2 箇所をつまんで、エアフィルターカバーをフィルターカバーから取り外す。



エアフィルターのお手入れ (つづき)

3. エアフィルターの埃を掃除機で吸い取るか、水またはぬるま湯でよく洗う。

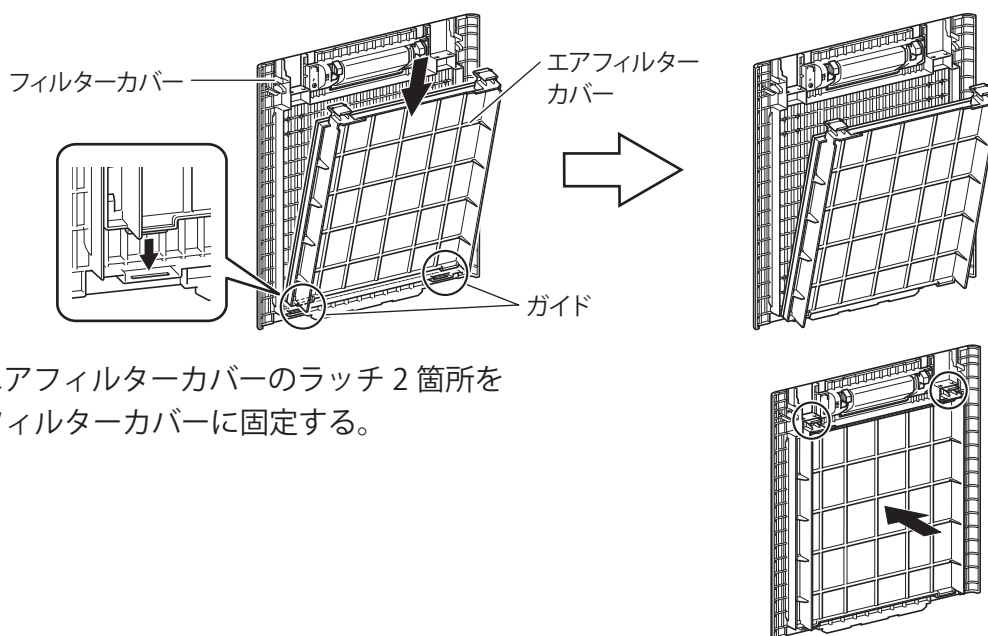


4. 洗浄した後は水でよくすすぎ、乾燥させる。

重要

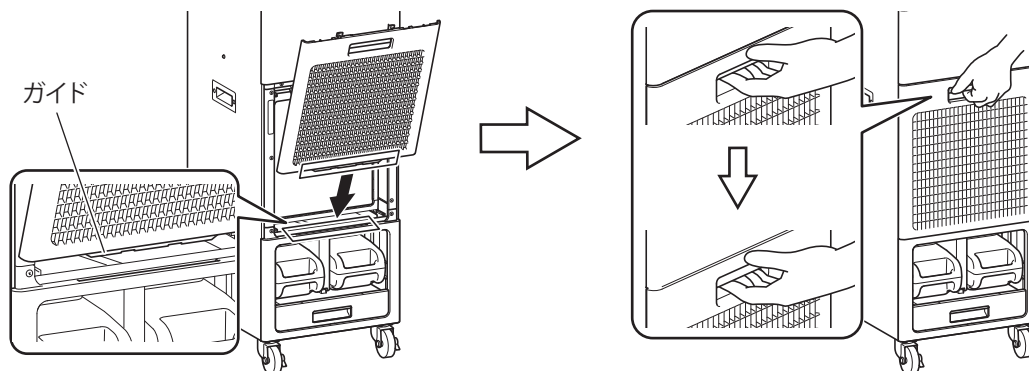
- 洗浄にはシンナー・トリクレンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 破損や破れなどがあると、エアフィルターが正常に機能しない場合があります。破損や破れがあるときは、直ちに交換してください。本体故障の原因になります。

5. エアフィルターカバーのガイド 2 箇所をフィルターカバーに差し込んで、エアフィルターカバーを取り付ける。



6. エアフィルターカバーのラッチ 2 箇所をフィルターカバーに固定する。

7. フィルターカバーのガイドを本体に差し込み、レバーを離してフィルターカバーを本体に取り付ける。



補足

フィルターカバーはカチッと音が鳴るまで閉めてください。
完全に閉まっていない状態で「運転／停止」ボタンを押すと、操作パネルの全 LED ランプが点灯し、動作しません。
フィルターカバーを閉めた状態で再度「運転／停止」ボタンを押してください。

冷却ユニットのお手入れ

⚠ 警告

運転中にフィルターカバーを取り外さないでください。
回転部に触れてけがをする恐れがあります。

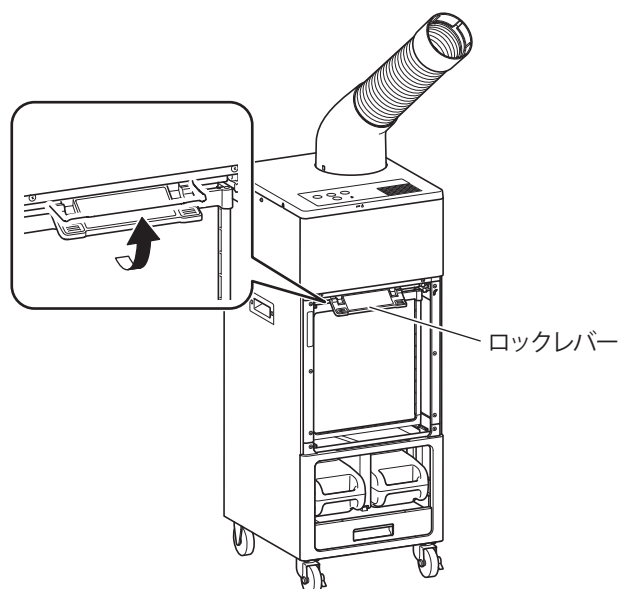
⚠ 注意

本体が水平な場所に設置され、キャスター（ロック付）が2箇所ロック（ON）されているか確認してください。

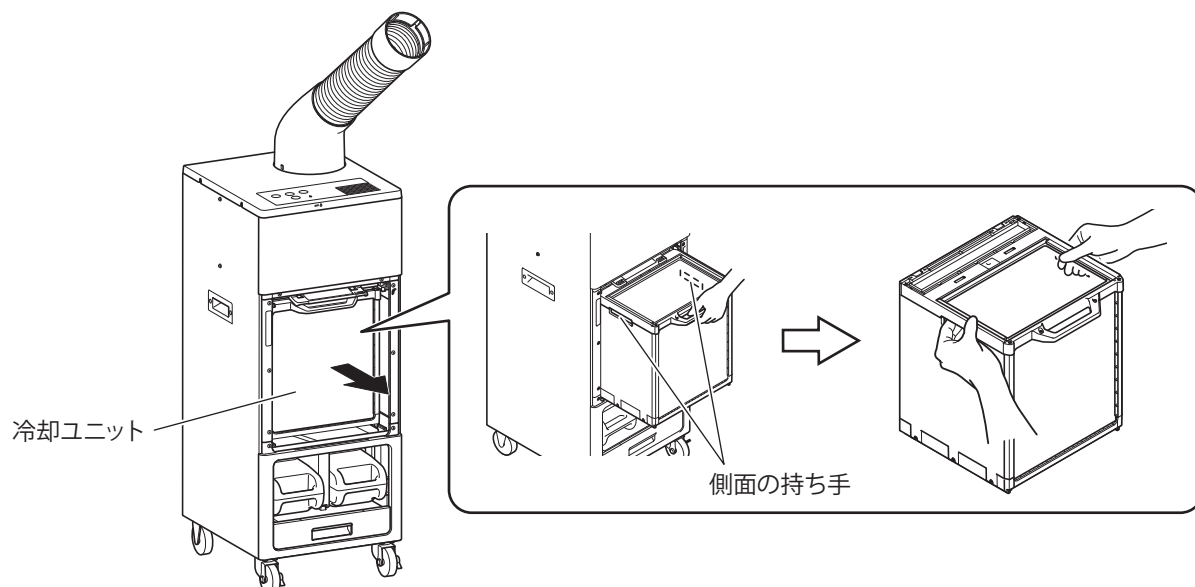
重要

冷却ユニットの汚れがひどくなると、冷却能力や風量低下の原因になりますので、2週間に1回程度冷却ユニットのお手入れをしてください。

1. フィルターカバーを本体から取り外す。（詳細は 16 ページ参照）
2. ロックレバーを上げる。



3. 冷却ユニット側面の持ち手が見えるまで片手で冷却ユニットを引き出し、側面の持ち手に両手をかけて冷却ユニットを取り出す。



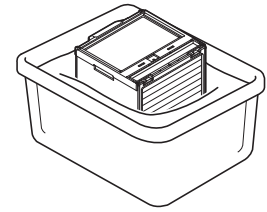
冷却ユニットのお手入れ (つづき)

4. むるま湯（40℃以下）に重曹またはクエン酸をよく溶かし、冷却ユニットを約30分浸けて洗う。

※ 油汚れや臭いには重曹を、水垢やカビにはクエン酸をお使いください。

※ 重曹の使用量（目安）：1Lあたり40g

※ クエン酸の使用量（目安）：1Lあたり6g



重要

- 重曹とクエン酸は混ぜて使用しないでください。
- 重曹やクエン酸の成分が残ると、臭いの発生や故障の原因になります。
- 冷却ユニットは重曹やクエン酸で洗浄せずに使用を続けると寿命が短くなり、3年に満たなくても交換が必要になる場合があります。
- 重曹およびクエン酸は薬局、ホームセンター、インターネットでお買い求め、適切に管理してください。
- 水垢が取れにくいときは、浸け置き時間を長く（最長2時間）してください。

5. 冷却ユニットを水道水で洗浄する。

※ 冷却エレメントを取り外した場合は、冷却エレメントも水道水で洗浄してください。

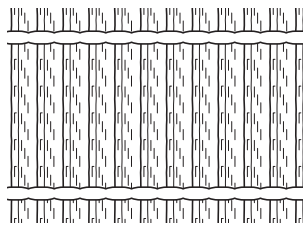
6. 冷却ユニットを本製品に取り付ける。

※ 冷却エレメントを取り外した場合は、先に冷却エレメントを冷却ユニットに取り付けてください。

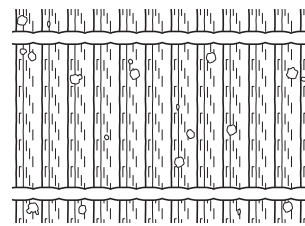
補足

白い水垢（スケール）が冷却エレメント（次ページ参照）に付着しているときは、クエン酸を使用して洗うことを推奨します。

水垢（スケール）がない状態

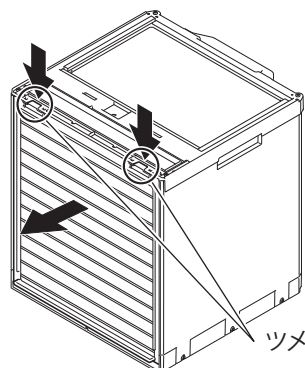


水垢（スケール）がある状態

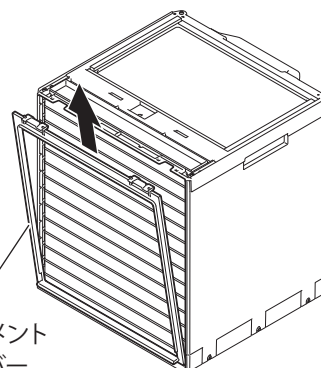


白い水垢（スケール）が冷却エレメントのみに付着していることを目視できる場合は、冷却エレメントを冷却ユニットから取り外して洗うことができます。

- (1) ツメ2箇所を押し込んで、冷却エレメントケースカバーを取り外す。

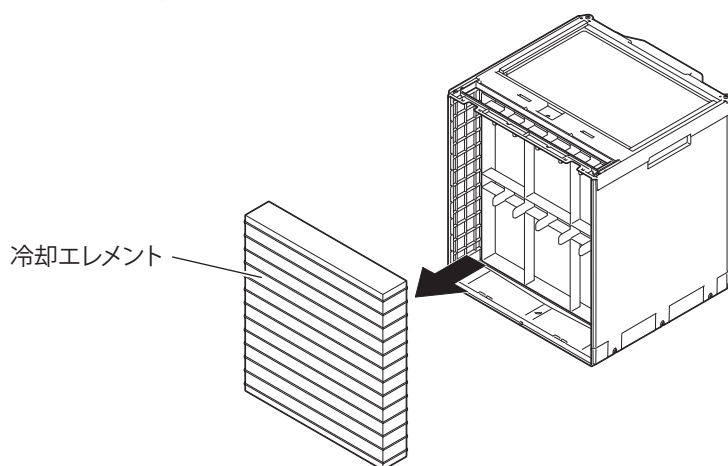


冷却エレメント
ケースカバー

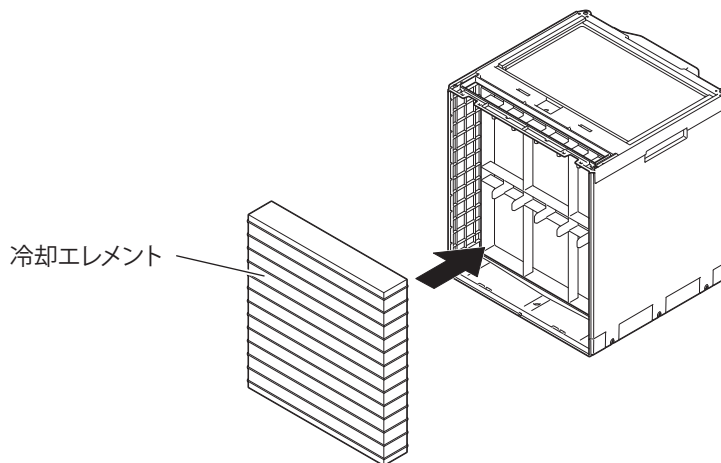


冷却ユニットのお手入れ (つづき)

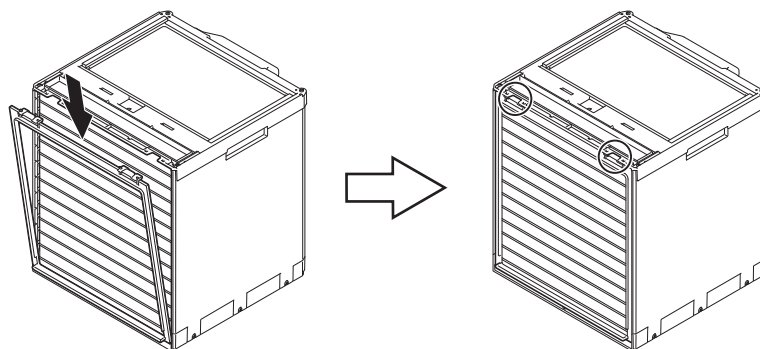
- (2) 冷却エレメントを冷却ユニットから取り外す。



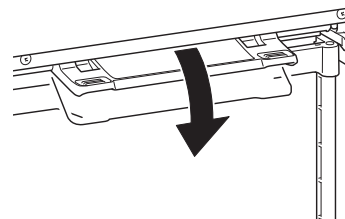
- (3) ぬるま湯（40℃以下）にクエン酸をよく溶かし、冷却エレメントを約30分浸けて洗う。
(4) 冷却エレメントを冷却ユニットに取り付けます。



- (5) ツメ 2箇所をはめて、冷却エレメントケースカバーを冷却ユニットに取り付ける。



7. ロックレバーを下げる。



補足

ロックレバーは確実に下げてください。ロックレバーが上がった状態では、フィルターカバーを取り付けることができません。ロックレバーが上がった状態でフィルターカバーを取り付けようとすると、部品が破損する恐れがあります。

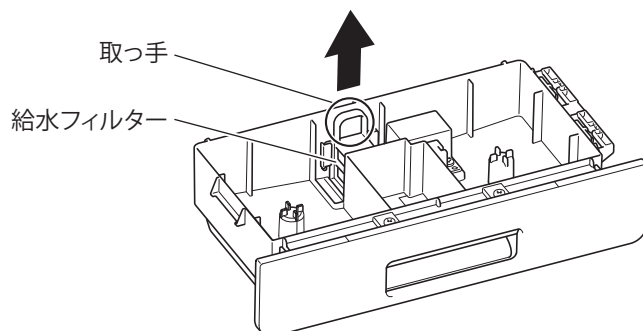
8. フィルターカバーを本体に取り付ける。（詳細は 17 ページ参照）

サブタンクのお手入れ

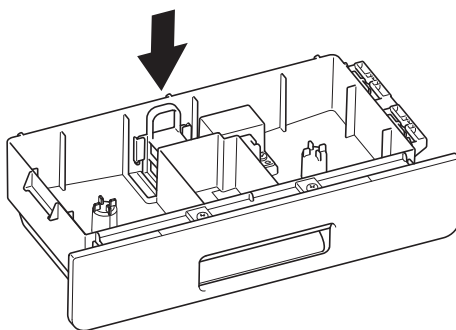
重要

- サブタンク内の残水は毎日排水してください。
 - サブタンクの汚れがひどくなると、冷却機能や風量低下の原因になりますので、2 週間に 1 回程度サブタンクのお手入れをしてください。
-

1. 給水タンクとサブタンクを本体から取り出し、サブタンクカバーを取り外す。（詳細は 11 ページ参照）
2. 給水フィルターの取手を上に引いて、給水フィルターを取り外す。



3. サブタンクおよびサブタンクカバーを、水道水で洗浄する。
4. 給水フィルターを取り付ける。



補足

給水フィルターはカチッと音が鳴るまで下げてください。

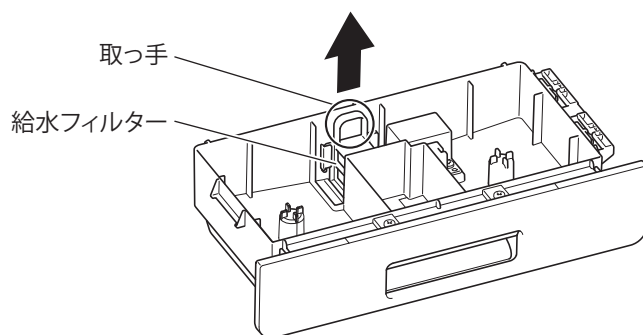
5. サブタンクカバーを取り付けたサブタンクと給水タンクを、本体に取り付ける。（詳細は 12 ページ参照）

給水フィルターのお手入れ

重要

給水フィルターの汚れがひどくなると、冷却機能や風量低下の原因になりますので、2週間に1回程度給水フィルターのお手入れをしてください。

1. 給水タンクとサブタンクを本体から取り出し、サブタンクカバーを取り外す。（詳細は11 ページ参照）
2. 給水フィルターの取っ手を上に引いて、給水フィルターを取り外す。

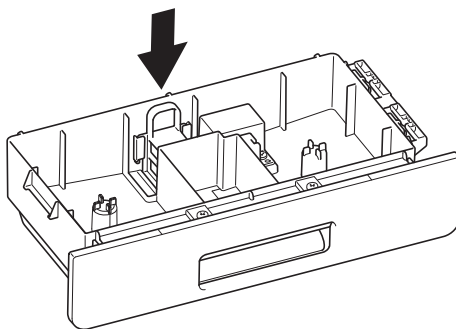


3. 給水フィルターを水道水で洗浄する。

補足

汚れがひどい場合は新しい給水フィルターに交換してください。

4. 給水フィルターを取り付ける。



補足

給水フィルターはカチッと音が鳴るまで下げてください。

5. サブタンクカバーを取り付けたサブタンクと給水タンクを、本体に取り付ける。（詳細は12 ページ参照）

4. 故障かな？と思ったら

下表の処置方法が「販売店に連絡」の場合、または処置方法に従って処置しても直らない場合は、お買い求めの販売店、またはブラザーコールセンターにご相談ください。

症状	原因	処置方法
● 全く動かない	● 電源が入っていない	● 電源を入れる (9 ページ)
● 首振りしない (PD-7100S 首振りタイプ)	● 「首振り」 ボタンを押していない ● 首振り機構まわりの故障	● 「首振り」 ボタンを押す ● 販売店に連絡する
● 風量が少ない	● 電源電圧が低い ● エアフィルターや冷却エレメントが目詰まりしている ● 吸気側の空間が狭い	● 電気業者に連絡する ● エアフィルターや冷却エレメントをお手入れする (16、18 ページ) ● 吸気側に空間 (50 cm 以上) をとる
● 給水ランプが点灯する	● タンクの水量が少ない	● 給水する (10 ページ)
● 給水タンクに水が入っているのに給水ランプが点灯する	● 給水後自動的に消灯しない ● 給水直後サブタンクに水が溜まっていない ● 本体が傾いている ● 給水タンクが本体に確実に取り付けられていない	● 「モード」 ボタンを1回押す ● 給水後は少し待ってから「モード」 ボタンを1回押す ● 水平な場所に設置する ● 給水タンクを本体の奥まで確実に入れる (10 ページ)
● 給水タンクに水が入っているのに冷風が出ない	● 本体が傾いている ● 給水タンクが本体に確実に取り付けられていない ● サブタンクが奥まで挿し込まれていない	● 水平になるように設置する ● 給水タンクを本体に確実に取り付ける (10 ページ) ● 奥まで挿し込む
● 本体からの水漏れ	● 本体が水平に保たれていない ● 部品の破損	● 本体を水平にする ● 販売店に連絡する
● 振動や騒音の発生	● ファンまたはファンまわりの故障	● 販売店に連絡する
● 冷風に不快な臭いがする	● 循環水や循環経路に雑菌が繁殖している ● 冷却ユニットに黒カビなどの汚れが目立つ ● 水道水以外の水を使用している	● 給水タンクおよびサブタンクのお手入れを行い、水道水を給水する (10 ページ) ● 冷却ユニットのお手入れまたは交換を行う (18 ページ) ● 水道水を使用する
● 風は出ているのに、タンクの水が減らない、または風の出が少ない	● エアフィルターに埃が付着している ● 冷却エレメントに水垢が付着している ● 送風モードになっている ● ポンプの故障 ● サブタンクが奥まで挿し込まれていない	● エアフィルターのお手入れをする (16 ページ) ● 冷却エレメントのお手入れをする (18 ページ) ● 「モード」 ボタンを押して「冷風」モードにする ● 販売店に連絡する ● 奥まで挿し込む
● 音がする	● 「ボコボコ」という音は、給水タンクからサブタンクに水が供給されるとき、給水タンクの中に空気が入ることによる音である ● 「ブーン」、「ジー」という音は、ファンが動いていることによる音である	● 異常ではありません ● 異常ではありません。いつもより音が大きい場合は、エアフィルター・冷却エレメントのお手入れをしてお使いください (16、18 ページ)
● 臭いが出る	● 冷却エレメント・サブタンクが汚れている	● 冷却エレメント・サブタンクのお手入れをする (18、21 ページ)

【エラー発生時について】

エラーが発生するとエラー音が鳴り、すべてのランプが点滅します。エラー音は 10 秒間「ピピピピ・・・ピピピピピ」と鳴ります。

エラー音を止めるには、「運転/停止」ボタンを長押しして製品の稼働を強制停止し、電源コードを入れ直してください。その後、給水フィルターのお手入れを実施してください (22 ページ)。

給水フィルターのお手入れを実施した後に、再び「運転/停止」ボタンを押して運転を開始させてください。このとき、エラー音が発生する場合は、お買い求めの販売店、またはブラザーコールセンターにご相談ください。



5. アクセサリーについて

次のアクセサリは、お買い求めの販売店にご注文ください。

	品名 (型番)	備考
消耗品	冷却ユニット (7A-1001) 	3年を目安に交換を推奨します (1年のうち6ヶ月、1日8時間運転し、月に1回クエン酸洗浄した場合)。3年以内でも汚れや水垢が落ちにくくなったり、傷みや型くずれがひどいときは交換をしてください。
	エアフィルター (7A-2001) 	3年を目安に交換を推奨します。3年以内でも汚れが落ちにくくなったり、臭いが発生したら交換をおすすめします。
	給水フィルター (7A-3001) 	3年を目安に交換を推奨します。3年以内でも異物のつまりや傷みがひどいときは交換をしてください。
オプション品	冷風ダクト (7R-1001) 	部品の劣化や破損、紛失時に交換してください。
	フィルターカバー (7R-2001) ※エアフィルターおよびエアフィルターカバー含む	
	給水タンク (7R-3001) 	
	サブタンク (7R-4001) ※給水フィルター含む	

6. 仕様

品名	排気熱風レス ^{※1} & フロンレス スポットクーラー	
型番	PD-7100F	PD-7100S
タイプ	首固定タイプ	首振りタイプ
電源電圧および周波数	AC100 V 50/60 Hz	
消費電力	風量 強：220 W 中：140 W 弱：50 W	
風量	強：500 m ³ /h 中：410 m ³ /h 弱：300 m ³ /h	
首振り角度	—	約 80°
給水タンク容量	約 10 L (約 5.0L × 2)	
連続冷風使用時間 ^{※2}	約 8 時間	
運転音 ^{※3}	63 dB	
コードの長さ	2 m	
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	390 mm × 430 mm × 990 mm (ダクト口含まず)	
重量 ^{※4}	31 kg	32 kg

本製品は屋内の工業環境用途向けであり、一般家庭内での使用には適しておりません。

※1 排気熱風レスとは、排出される排気の乾球温度が外気温より低くなることを指します。

※2 風量中で 35℃ /60% の場合

※3 風量中の場合

※4 タンク空状態

7. 保管するとき（長期間使用しないとき）

1. 給水タンクおよびサブタンクの残水を完全に排水する。
2. 「3. お手入れのしかた」に従ってお手入れをする。
3. 「送風」モードにて 1.5 時間程度運転を行い、本体内部を乾燥させた後、運転を停止する。
4. 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
5. 製品および部品が乾燥したら、埃がたまらないようにカバー等をかけ、湿気の少ない屋内で横倒しにせず立てた状態で保管する。

8. 保証とアフターサービス

保証について

この製品には、1 年間の無償修理保証書が付いておりますので、大切に保管してください。

なお、保証期間内に修理を依頼される場合は、購入日がわかるものを添えてください。

修理を依頼されるときは

「4. 故障かな?と思ったら」をご覧ください、もう一度ご確認ください。

それでも異常のある場合は、お買い求めの販売店、または、ブラザーコールセンターにご相談ください。

ご相談の際には、製品の異常状態と品名・型番および製造番号をお知らせください。

※製造番号は、製品の背面に貼付してある「ラベル」に記してあります。

部品の保有期間について

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後 6 年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ブラザー販売株式会社

〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町 15 番 1 号

ブラザーコールセンター

TEL : 0570-008-588

brother



D031UE001B